



2020年9月14日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合青年・女性委員会第29回定期総会

仲間づくりのために新しい当たり前をつくる

9月12日、JR連合青年・女性委員会は第29回定期総会を開催し、「心ひとつに～仲間とともに明るい未来へ～」をスローガンに掲げ、向こう1年間の活動方針を決定した。今総会は新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、大阪市内にメイン会場を据えつつ、Web会議システムを活用したライブ形式とし、総勢75人が参集した。



JR連合からは荻山市朗会長、中村鉄平交通政策部長（青女担当）が出席した。

冒頭、挨拶に立った鶴石貢議長は、新型コロナウイルス感染症による影響について触れ「政府等への要請行動を実施するなど、最大の危機を乗り越えていかなければならない」とした上で、「JR連合ふれあいキャンペーン」を紹介し、「こういうときこそ、労働組合として働く仲間が互いに支え合うことが重要」と呼びかけた。その後、①自然災害をはじめとする政策課題と政治との関わり、②安全確立の取り組み、③組織の強化・拡大について考えを示し、第25回ユースラリーが開催できなかったことから「仲間づくりの貴重な機会を提供できるよう、“新しい当たり前”をつくっていく」と決意を語った。

幹事会から経過報告・活動方針を提起した後、8人の総会委員・特別委員から安全確立、民主化闘争、組織課題、政策活動、そしてユースラリーをはじめとするコロナ禍での活動のあり方など、方針を補強する発言があり、中間答弁、島口明典事務長からの総括答弁を行った。活動方針についてはモニター上の挙手によって賛否を確認。全員再任での役員体制とともに満場一致で決定した。

最後に総会アピールを採択し、鶴石議長のかけ声のもと団結がんばろうを行い、難局に立ち向かう決意を固め合った。